

【事業名】千葉県の特キョウサンショウウオの分布と保全・啓発活動

(九十九里平野等;分布調査,千葉県匝瑳市,銚子市;保全・啓発事業)【団体名】千葉県野生生物研究会

令和3年度 生物多様性保全推進支援事業
実績報告書別紙10-6

事業の背景・目的

・本会では1995年～2007年に千葉県全域の特キョウサンショウウオの分布調査を実施し、県内では本種の産卵場所が水田耕作にともなう水辺の割合が90%を超え、里山に依存することを明らかにした。しかし昨今、開発による農地の消失や耕作放棄による産卵場所となる水辺の消失が本種の生息数を減少させる主たる要因となっている。そこで、本会では消失した水辺を再生することにより、新たな産卵の誘発や産卵数を増やすことに成功したので、県内でも生息密度が高い匝瑳市を中心に耕作放棄地に水辺を再生するとともに、本種のシンポジウムや観察会を主催して啓発活動を推進させ、行政とも連携を図り、本種保全のモデルケースを構築する。

事業の内容

・事業アは、耕作放棄地等に水辺を再生すると共に、食害の脅威となるアライグマやアメリカザリガニの対策を施す。アライグマ等の食害防止の試みで、保全場所に畦畔板や塩ビ管を設置した。また、産卵期に現れた成体にマイクロチップを挿入して行動解明調査を行う。事業イは、本種のシンポジウムや観察会を主催して、地域住民や高校生との交流を深め、啓発活動を推進させる。

令和2年度

事業ア 保全事業：千葉県匝瑳市
事業イ 啓発事業 令和3年3月27日 敬愛大学八日市場高等学校 第10回 房総の特キョウサンショウウオ・ミニシンポジウム
事業ウ 分布調査事業 3月9日～3月31日 九十九里平野など

令和3年度

事業ア 保全事業：千葉県匝瑳市、銚子市
事業イ 啓発事業 令和4年3月26日 敬愛大学八日市場高等学校 第11回房総の特キョウサンショウウオ・ミニシンポジウム

令和4年度

事業ア 保全事業：千葉県匝瑳市、銚子市
事業イ 啓発事業 令和5年3月18日 敬愛大学八日市場高等学校 第12回 房総の特キョウサンショウウオ・ミニシンポジウム

得られた成果

・14か所で保全場所を再生した。保全以前の産卵未確認地5カ所のうち4カ所で産卵が誘発され、保全以前の産卵確認地では卵のう数が1～6倍に増加した。ただし、2年目に卵のう数の減少が3か所でみられたが、事業の成果は顕著であった。マイクロチップは78個体(♂63・♀15)に挿入し、28個体が再捕獲された。今年度、アライグマは確認されなかったが、その食害防止の試みで、保全場所に板(畦畔板)や塩ビ管を設置した。するとそこが成体の隠れ家となり、産卵が誘発された。シンポジウムでは28名が参加者し、12月22日に地元の高中生と保全作業を共有し、3月5日には地元住民の方と保全地域内での自然観察会を実施した。

